

ハザードマップをご確認ください

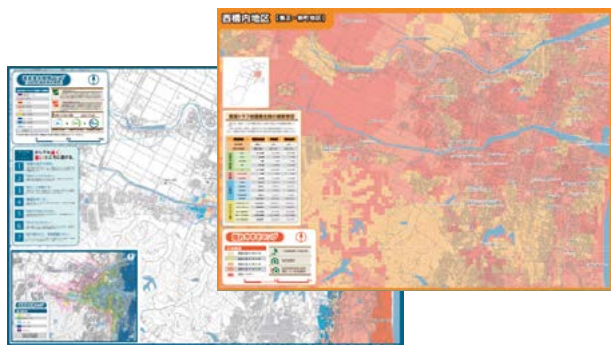
今後発生が予想される南海トラフ巨大地震では津波被害のほか、次のような被害が発生すると考えられます。起こり得る被害を想定して、災害に備えましょう。

！ 地震防災マップ

南海トラフを震源とする地震が発生した場合の、予測震度や津波の浸水が予測される地域などを色分けして表示しています。

津波警報等が発表された場合は、ハザードマップの津波浸水予測地域外である高台などの安全な場所を目指して避難しましょう。もし避難が間に合わない場合は、マップに記載されている津波避難ビルや津波避難協力ビルに一時避難し、少しでも高いところへ避難してください。

あらかじめ危険箇所や避難先を確認しておきましょう。



ハザードマップは津市ホームページ内の防災サイトで公開しているほか、防災室、各総合支所地域振興課、各出張所で配布しています。詳しくは、防災室または各総合支所地域振興課へお問い合わせください。

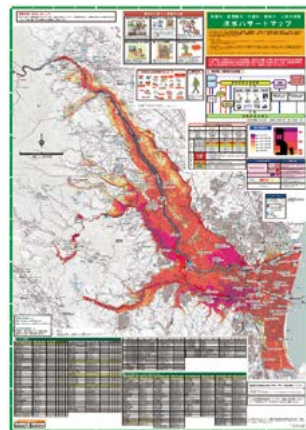


津市ハザードマップ

！ 洪水ハザードマップ

想定し得る最大規模の降雨(1,000年に一度程度)によって洪水になった場合、どのくらい浸水する可能性があるのかを色分けして表示しています。

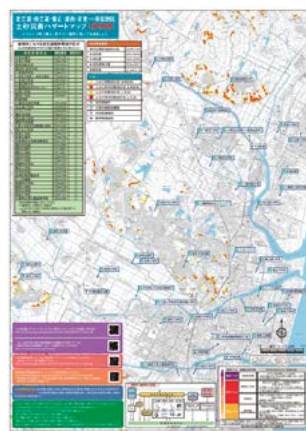
台風や大雨によって洪水・氾濫が発生した際の浸水予測や避難所などが掲載されていますので、あらかじめ自宅の災害リスク、周辺の危険箇所や避難先を確認しておきましょう。



！ 土砂災害ハザードマップ

土石流や地すべり、急傾斜地の崩壊区域等の土砂災害が発生する恐れのある土砂災害警戒区域を色分けして表示しています。

土砂災害発生の危険がある箇所や避難所、土砂災害避難施設が掲載されていますので、あらかじめ危険箇所や避難先を確認しておきましょう。



タウンウォッチングをしてみましょう

タウンウォッチングとは自分たちのまちを見て歩き、災害が起こった時に危険な場所やもの、または役立つ場所やものなどを調べることで、災害が発生したことをイメージしながら実際にまちを見て歩き、自分たちの住む地域の状況や危険箇所を知ることは、防災意識を高めることに直結します。

また、タウンウォッチング実施後に、得られた情報を地図上に示して避難経路を考えておくことで、地域への関心や理解をより深めることにもつながります。

